

| 年生対象

若手研究者と  
考える

# 研究の魅力

9月29日(月)東京医科大学の宮城碧水氏による講演会が行われました。若手研究者としての視点や考え方など、身近な研究題材を交えながら紹介していただきました。

### ＜生徒の感想＞

ALS や酵母など、普段の日常生活では気にしないような物が社会の役に立っているのが面白いと感じた。周りと異なる視点で常識を疑うように物事を捉えてみると、沢山の疑問やテーマが見つかると知ることができた為、今後 SS 探求のテーマ設定の際に参考にしてみたい。(3組Cさん)



研究とは、ただ新しい事象やメカニズムを発見・発表するのではなく、それが本当に正しいのかを確かめる再現性や、思い込みを防ぐことが大切ということがとても印象に残り、日常生活でも意識していきたいことだと思いました。(5組Tさん)



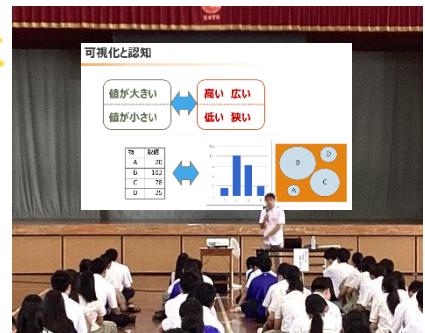
毎日10時間以上の研究時間でもその研究が納得できる結果に結びつくまで何年もかかると知って、研究者という仕事は大変だけどとてもやりがいがありそうだと思った。研究は新しいレシピを考える作業に似ている。(1組Aさん)

## データサイエンス

# DATA SCIENCE

データを可視化して、  
自分にも相手にも分か  
りやすく

10月14日(火)琉球大学工学部工学科知能情報コースの岡崎威生先生によるデータサイエンス講座が行われました。データを収集し活用するスキルは探究活動を行う上で重要です。取ったデータのまとめ方、表現方法、比較・考察の仕方など、各自のタブレットで実践しながら学びました。



DTKWピラミッド

データ・情報・知識・知恵の関係を分かり易く体系化した図

- Data (データ)
    - それ自体では意味を持たない数字、記号など
      - 生データ、ローデータ
  - Information (情報)
    - データを何らかの基準で整理して意味づけしたもの
  - Knowledge (知識)
    - 情報をまとめて体系化・構造化することで、規則性、傾向、知見を導き出したもの
  - Wisdom (知恵)
    - 知識を正しい認識上に判断し、価値観やエチカルに昇華させたもの



＜チャレンジ＞

みなさんの事後アンケートデータを見える化してみました！

Q. 事前課題に取り組みましたか？

回答	割合
しっかり取り組んだ	49%
少し取り組んだ	36%
取り組まなかった	15%

生データ  
171個の回答  
を円グラフへ

見やすい！  
分かりやすい！

・比徒の感想

同じデータでも、間隔や名義、順序など様々な種類があり、それらのデータの豊富さも比較することができるものだと知ってとても便利なものだと改めて考えた。プレゼンなどの際にうまくデータを活用していきたい。(6組)